



仙台・宮城元気ニュース

～仙台地域の明るく元気な情報を発信！～

平成30年度第3号（通算第52号）
平成30年8月31日発行-隔月発行-
【発行】宮城県仙台地方振興事務所

●今月号の元気な話題●

- 地振** 街・海・山まるごと満喫！～仙台・松島エリア～観光マップが完成しました！
【地方振興部】 1
- 畜振** 宮城県農業高校の乳牛が『最優秀賞』を受賞しました！
【畜産振興部】 2
- 林振** NPO法人 わたりグリーンベルトプロジェクト
【林業振興部】 2
- 農振** 利府梨の新たな主力品種「あきづき」の安定生産支援
【農業振興部】 3
- 農整** 今年度も仙台地域の沿岸地においてマラウイ共和国との技術研修を実施しました！
【農業農村整備部】 3
- 地振** JR東日本との連携事業で、仙台・松島エリアの観光PRを行いました！
【地方振興部】 4

みやぎ水産の日 ●今月のおすすめ●

【ホタテ】



全国第3位の生産量(養殖)を誇る宮城県のホタテガイ。和洋中どんな料理にも相性抜群！バター焼きなどがおすすめです。

街・海・山まるごと満喫！～仙台・松島エリア～ 観光マップが完成しました！

【地方振興部】

仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会仙台地域部会では、仙台・松島エリアの観光施設等の情報を掲載した観光案内マップを作成しました。エリア内のおすすめ観光スポットの情報を紹介しています。裏表紙にはエリアの地図とアクセス情報を載せているので、実際に足を運んでいただく際にも役立ちます。

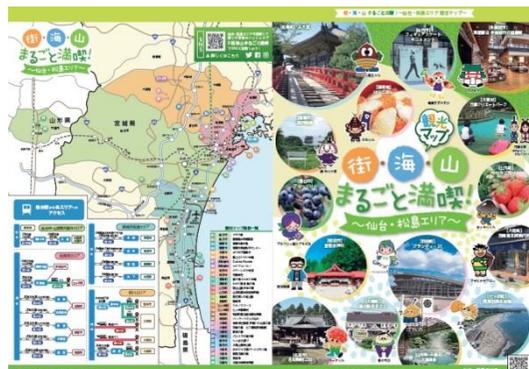
マップはエリア内各市町村役場や掲載されている一部施設等で配布しているほか、地方振興部ホームページでウェブ版を公開しています。仙台・松島エリア観光のお供に、ぜひご活用ください。

マップはエリア内各市町村役場や掲載されている一部施設等で配布しているほか、地方振興部ホームページでウェブ版を公開しています。仙台・松島エリア観光のお供に、ぜひご活用ください。

■地方振興部ホームページ

街・海・山まるごと満喫！～仙台・松島エリア～
観光マップ (Web版)

<http://www.pref.miyagi.jp/site/event/kankouannaimap.html>



観光マップの
表紙・裏表紙・中面

宮城県農業高校の乳牛が『最優秀賞』を受賞しました！

【畜産振興部】

6月23日（土）、みやぎ総合家畜市場において、宮城県ホルスタイン改良同志会の主催による第53回宮城県ブラックアンドホワイトショー（乳用牛の共進会）が開催されました。

県内各地から60頭の乳牛が参加し、月齢により10区に分かれ、審査が行われました。その中で、宮城県農業高校が出品したブラメリア エボニー スギ号（生後9ヶ月以上 12ヶ月未満の区）とミヤノウ エステンプター イツキ ラヴリッチ号（生後16ヶ月以上20ヶ月未満の区）が「最優秀賞」を、また、オムラ モンスター号（生後9ヶ月未満の区）が「優良賞」を受賞しました。

日ごろから、きめ細かな飼養管理を牛部員一同で行いながら、搾乳後に調教をし、共進会に挑み、見事プロの酪農家を相手に勝ち抜いた、とても頼もしい後継者たちの今後に期待しています。



審査を受けるブラメリア
エボニー スギ
号(202)



受賞者一同

NPO法人 わたりグリーンベルトプロジェクト

【林業振興部】

仙台湾岸には、海からの冷たい風や砂浜から飛んでくる砂から農作物や集落を守るため、人の手で植えられた、いわゆる白砂青松の松林がありました。これらの林は、松葉などの燃料やキノコなどを提供し、暮らしを支える林として人と密接な関係を持ち、また、様々な野生生物のすみかになってきました。しかし、東日本大震災の津波は松林だけでなく、このような林と住民との関係性までも流してしまいました。

亘理町の「NPO法人 わたりグリーンベルトプロジェクト」は、地元の区長さんたちを中心に住民有志や町内事業者などが集まって設立され、失われた海岸林の再生に専門家の指導のもと取り組んできました。活動では、海岸林の再生を通して、安全安心なまちを後世に引き継ぐことを目標に、ワークショップやイベントなども開催してきました。

海岸の厳しい環境で林が育つには様々な困難が予想されます。適切に管理していくには、地域の密接な関与が欠かせません。当法人には、これからも重要な役割が期待されます。



町民参加の植樹祭



地元産のタネから育てた苗木
大きくなるまで30年

■わたりグリーンベルトプロジェクト ホームページ

<http://watari-grb.org/>

利府梨の新たな主力品種「あきづき」の安定生産支援

【農業振興部】

利府町ではおよそ23haで梨が栽培されています。近年は、これまで主力品種であった「長十郎」から、さらに食味の良い「あきづき」へ品種更新が進んでいます。「あきづき」は花芽が着きにくく、導入初期は収量が安定しませんでした。そこで、JA仙台利府なし部会は県の試験場や他産地との情報交換を行いながら試行錯誤を繰り返し、安定した収量が得られる栽培管理を考案しました。

JA仙台利府なし部会は、7月6日に開催された宮城県園芸協会主催の宮城県なし現地検討会で「あきづき」の栽培管理について事例紹介するなど、宮城県の「あきづき」栽培をリードする産地となっています。

仙台農業改良普及センターでは、適正な栽培管理や環境にやさしい栽培技術の導入支援など、利府梨の安定生産支援をしていきます。

利府梨の収穫時期は、8月中旬から10月中旬の2ヶ月間になります。おいしい利府梨を是非御賞味下さい。



梨現地検討会において「あきづき」の枝管理を説明する生産者

今年度も仙台地域の沿岸地においてマラウイ共和国との技術研修を実施しました！

【農業農村整備部】

県ではJICA（独立行政法人国際協力機構）と「みやぎ国際協力隊プロジェクト」の実施に係る合意書を締結し、平成22年度よりアフリカ・マラウイ共和国へ農業水利分野の現地活動支援を行っており、平成23年度からはマラウイ共和国からの技術研修生の受入れも実施しています。

今年度も7月17日から8月3日までの18日間、マラウイ共和国のかんがい技術者や大学講師等の4名が、研修員として本県で技術研修会を行いました。

当事務所管内においては、7月19日に農業土木技術を学ぶ現地研修として、東日本大震災の津波や地震で被害を受けた農地の復旧工事現場や農地海岸の被害状況、復興に向けて大区画化などの整備を行っている水田の工事現場などを回り、当部職員が説明を行いました。

マラウイ共和国は世界で9番目に広い淡水湖（マラウイ湖）がありますが、海に面していないため、研修員の皆さんは、震災の津波による被害の大きさに驚くとともに、復旧・復興の経過や自国とのかんがい技術の共通点と違いを説明や質問を通じて学びました。

本県における技術研修を通じて得た農業土木技術や発見を自国で活かすとともに、本研修が宮城県、あるいは日本とマラウイ共和国との交流の一助となることを期待しています。



大区画ほ場整備事業の説明を受ける様子



農地海岸復旧事業の説明を受ける様子

J R東日本との連携事業で、 仙台・松島エリアの観光PRを行いました！

【地方振興部】

仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会仙台地域部会では、J R東日本と連携して仙台・松島エリアの観光情報をPRしました。

8月6日（月）～8日（水）には、仙台七夕祭りに合わせて運行された「フルーティアふくしま七夕祭り号」に乗車していた観光客の方々を、仙台駅のホームで市町村キャラクターも交えてお出迎えしました。その後、観光パンフレットの配布やキャラクターとの写真撮影などを行いました。



フルーティアふくしま
仙台七夕号をお出迎えする
むすび丸

8月17日（金）、31日（金）にはJ Rバス東北が運行する定期観光バス「仙台お散歩号」に乗車する観光客の方々のお見送りと観光パンフレットの配布を行いました。「仙台お散歩号」のお見送りは9月7日（金）にも実施します。

両企画共に観光客に仙台・松島エリアをPRする絶好の機会となりました。



お出迎え（8月7日）に
参加したキャラクター

●過去の仙台・宮城元気ニュース●

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sdsgsin-e/tigenki-news.html>



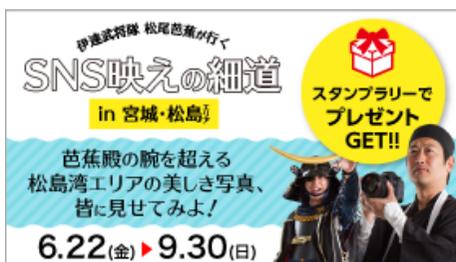
●仙台・松島エリアの観光情報●

<http://www.pref.miyagi.jp/site/event/>



●SNS映えの細道in宮城・松島湾エリア●

<https://sns-matsushima.com/>



問合せ先：宮城県仙台地方振興事務所地方振興部（担当：首藤）

TEL：022-275-9140 FAX：022-275-0296 E-Mail：sdsinbk2@pref.miyagi.lg.jp

HP：<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sdsgsin-e/> ※次号は平成30年10月下旬発行予定です。